

# 北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第17週(令和7年4月21日～令和7年4月27日)

## <発生動向>

第17週の百日咳の報告が5件(うち0歳1件)あり、累計29件となりました。百日咳ワクチンの接種をした人も報告されています。接種後年数が経過し、百日咳に対する免疫が低下していることが考えられます。成人では軽症で診断が見のがされやすいものの、菌の排出があるため、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。職場や学校のみならず、家庭内でも「咳エチケット」を心がけましょう。

第17週の感染性胃腸炎の定点あたり報告数は13.77で前週よりも増加しており、市内の高齢者施設等の集団発生の報告が2件ありました。別紙を参考に、吐物処理には次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒を行い、感染拡大を防止しましょう。

次回(第18週)の発表は5月9日(金)になります。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	2	46	20	221	213	3,885
後天性免疫不全症候群	1	3	2	12	13	231
百日咳	5	29	142	654	1,884	9,336

## ■ 定点把握疾患報告数

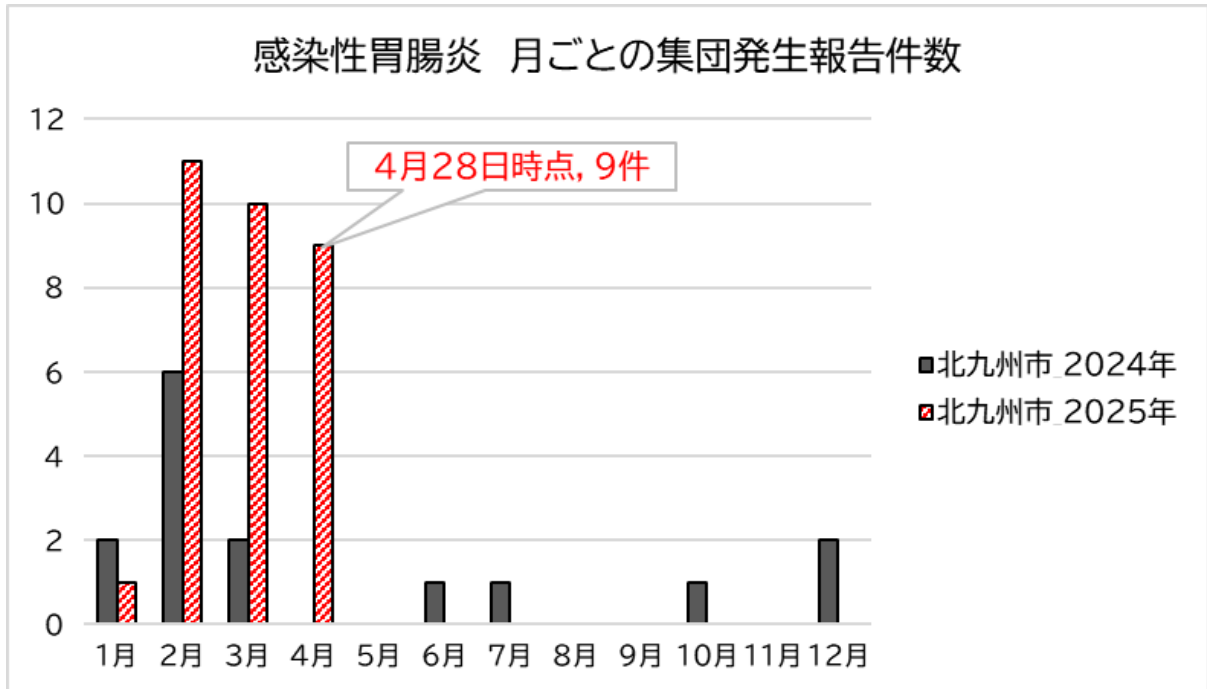
病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	23	1.00	0.70	113	0.93	6,852	1.77
インフルエンザ	42	1.83	1.61	146	1.20	4,627	1.20
急性呼吸器感染症	984	42.78	35.70	5,914	48.48	216,136	56.58
RSウイルス感染症	21	1.62	1.69	79	1.13	2,012	0.85
咽頭結膜熱	7	0.54	0.15	37	0.53	755	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	4.77	4.69	267	3.81	6,250	2.64
感染性胃腸炎	179	13.77	10.46	747	10.67	20,169	8.54
水痘	1	0.08	0.31	26	0.37	868	0.37
手足口病	1	0.08	0.00	8	0.11	171	0.07
伝染性紅斑	11	0.85	0.69	76	1.09	2,963	1.25
突発性発しん	6	0.46	0.15	37	0.53	709	0.30
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	2	0.03	48	0.02
流行性耳下腺炎	3	0.23	0.00	4	0.06	143	0.06
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	1	0.04	45	0.06
流行性角結膜炎	4	0.67	0.17	19	0.73	661	0.95
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	2	1.00	1.00	2	0.13	144	0.30
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	3	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	1	0.07	114	0.24

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。  
○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

## 感染性胃腸炎の集団発生が続いています

感染性胃腸炎の集団発生報告が、令和7年4月1日から28日までの間で9件ありました。2月以降、昨年よりも報告数が多い状態が続いており、春になっても流行が続いています。



感染性胃腸炎の集団発生では、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス感染症が含まれているケースも報告されています。次のポイントを参考に、感染予防・感染拡大防止を心がけましょう。

### ➤ 感染防止のポイント

- (1) 食事の前やトイレの後、おう吐物処理の後などには、**必ず手を洗いましょう。**  
タオルは共用せず、**ペーパータオルや個人のタオルを使用**しましょう。
- (2) **下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱わない**にしましょう。  
食品に付着したノロウイルスを死滅させるためには、**中心温度 85℃～90℃、90 秒以上の加熱**が必要です。
- (3) 床等に飛び散った患者のおう吐物や便を処理するときには、**使い捨てのガウン、マスク、手袋を着用**し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、古布やペーパータオル等で静かに拭き取ります。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム(※塩素濃度約 1000ppm)**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。
- (4) 拭き取った古布等はビニール袋に**密封して廃棄**します(できれば袋内で※に浸す)。



★ノロウイルスやロタウイルスはアルコールに対する抵抗力が強いため、**消毒には次亜塩素酸ナトリウム消毒液(塩素系漂白剤)**を使用しましょう。  
消毒の手順は裏面をご覧ください。

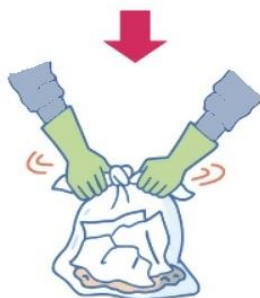
## ➤ おう吐物などの処理方法のポイント



①

マスク、使い捨ての手袋を着け、おう吐物を、  
乾燥する前にペーパータオルなどで除去する

膝やエプロン・ガウンの裾が床につかないように注意！！  
外側から内側へ向けて、静かに包みこむ。



②

ふき取ったペーパータオルはビニール袋に入れて密封する



③

おう吐物の付着していた場所を浸すように次亜塩素酸ナトリウム  
消毒液で消毒する

次亜塩素酸ナトリウム液は水1Lに台所用漂白剤 10ml※で作ることができる

※商品によって異なる



④

使い終わった手袋、マスク、2のペーパータオル等を  
入れた袋を、別のビニール袋に入れて密封する

換気は屋内への拡散防止のため、おう吐物処理が終わってから  
空気の流れに注意して行う



⑤

終わったら、せっけんを使って丁寧に手を洗う

参考：政府広報オンライン (<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201811/3.html>)を改変